



第 43 号
編集・発行
信州大学附属図書館
繊維学部分館
平成14年4月8日

CONTENTS

私の読書遍歴 (6) 教訓のことば特集 その1	機能高分子学科	近藤 慶之	(2)
分館通信 告知板			(9)
分館日誌			(11)
編集後記			(12)

Library(電子版)はインターネットでも提供しています。
URLは <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/seni/online.html> です。

私の読書遍歴

(6) 教訓のことは特集, その1

機能高分子学科 近藤慶之

2001年は希望に満ち溢れた21世紀の幕開けとはうらはらに誰もが想像もしなかった悲しい出来事が起こってしまいました。2001年9月11日の世界貿易センタービルを中心とした同時多発テロであります。私も今から20年前に文部省の在外研究員としてアメリカに留学した際に、二度、あの巨大な世界貿易センタービルを訪れた頃を、ふと思い出し、あの大きなビルにジェット機がとび込んで、しかも跡形もなく崩れ落ちてしまったなんて考えてもみませんでした。“時は悲しみを癒す妙薬だ”と言われますが、しばらくは忘れられそうにありません。

打ち拉がれた私達の心を明るくさせてくれたのは、皇太子ご夫妻に新宮さま誕生のニュースで、師走に入ってすぐの12月1日のことであった。12月7日には「命名の儀」の後、宮内庁から発表があり、「敬宮(としのみや)愛子(あいこ)」さまと決まった。小泉首相は「いいお名前ですね。何か難しそうなお名前かと思っていましたが、だれにでも分かる愛子、敬宮さま。愛と敬でしょ。愛きょうのある敬愛されるお子さまとして健やかにご成長してほしいですね。実にいいお名前だと思います」と感想を語られたのが印象に残りました。

さらには「野依良治氏のノーベル化学賞受賞」も嬉しいニュースでありました。一昨年の白川英樹氏につづく2年連続のおめでたいことであり、日本の基礎化学が世界のトップレベルにあることを証明された立派な金メダルでありました。

これから本題に入りますが、今回はためになる教訓のことはいくつか、紹介しようと思います。

昨年暮れに日本を代表する一人の大指揮者が天寿をまっとうし大往生をとげた。その名は朝比奈隆、享年93才であった。思えば年末の喧噪(けんそう)を避けるような、静かな最後だったと評論家の福井栄一氏が2002年2月6日の信濃毎日新聞、文化欄に書いております。偉大な指揮者、朝比奈隆を歌舞伎俳優・七世坂東三津五郎(1882-1961)の言葉を例に出されています。踊りの神様といわれた三津五郎が目指した境地は、「面白い」「うまい」踊りではなくて、「いい」「感じのよい」踊りであったようで、朝比奈さん

も決して「うまい」指揮者ではなく奇をてらった「面白い」指揮には関心がなく、代わりに、必ずやファンの期待を裏切らない「いい」音楽を聴かせてくれたのです。

デザイナー小篠順子さんのお母さんである小篠綾子さんの好きな言葉，“人生は短し芸術は長し”，“生涯青春”がよく知られています。私は“生涯青春”にぴったりの人はプロスキーヤーで山岳写真家の三浦敬三さんをあげたい。北海道帝国大学時代に八甲田の樹氷に魅せられ、以来80年余りも一貫して山スキーに携わり、雪と共に過ごしてきて現在98才で健在のようです。息子は冒険スキーヤーの雄一郎氏、お孫さんはモーグルスキーヤーの豪君であることはご存知の方も多いことでしょう。70才でヒマラヤ、77才でキリマンジャロに登頂し、親子3代のスキー滑降に成功、来年の白寿（99才）の年にモンブランのシャモニー氷河を滑るという目標をもっているようです。

よく見かける標語を一つ

たった一言が
あなたの心を傷つける
たった一言が
あなたの心を暖める

とても、すてきな詩を一つ

朝眼がさめたそのすばらしさを
あなたは感じたことがありませんか
生あつて生きているから
悩みも楽しみも心配もできる
生きていることはすばらしきこと

「めざめ」
賜びしいのち
あるありて今日も
めざめたり あざ
めしことは
ありがたきかな

碧水

先人の教訓のことばを三つ

- ・「世の人は我をなにと言わば言え，我が成すことは我のみぞ知る」
(Whatever people may say about me, I understand what I'm doing.)

坂本竜馬

- ・「今日という日は残りの人生の一日目である」
(Today is the first day of the rest of your life.)

作者不明

- ・「想像力は知識よりも重要である」
(Imagination is more important than knowledge.)

アルバート・アインシュタイン

カレンダーからひろった標語のいくつかをあげます

一日は
一日新しい
いのち尊し

(The day is fresh day by day,
this precious life.)

体温をもつた言葉は
必ず相手を包み
相手に響いていく

(Words possessed of the
wormth of life
invarious embrance
others and
reverberate in them.)

光文社発行，瀬戸内寂聴著，「生きることばあなたへ」(2001年3月5日初版発行)を讀んでみました。人が生きるということはどういうことなのか？を平易に解説されていてとても感動いたしました。一讀をおすすめします。 文面をそのまま二つあげておきます。

生きてある日は今日ばかりとは，このごろのわたしの真実の実感です。

逢う人はすべて一期一会^{いちごいちえ}とおもい，心をこめた別れ方をしておきたいと思っています。

そう思いはじめてから，いっそう人がなつかしく，

恋しく思われるのもありがたいことなのです。

生きることは，働くこと。仕事をさせていただくことです。

自分にふさわしい，あるいは自分にできる仕事をさせていただいて，

それが人様の役に立つ。

それが生きがいというものです。

仕事があることはとても有り難いことです。

好きな標語を二つ。

生きているということ
あるということほどの
不思議はない

(Nothing is more inconceivably
profound than being alive,
having life.)

深く生きる人生
それは
目覚めて生きる人生

(Living life to the utmost – that is a
life of awaking.)

NHK で毎週放送されている「^{・* 標注}プロジェクトX」(NHK 毎週火曜日午後9時15分から)という番組があります。NHKの人気番組で私もよく見ております。リーダーを信じて一

つの大きな目標に向かって仕事を成し遂げられた心から感動させられる涙のシーンの連続で
あります。2001年8月10日に文藝春秋社から、「プロジェクトXリーダーたちの言葉」
第1刷が出版されました。発売されて1ヶ月で第8刷までに伸びたと聞いております。ど
のお話をとっても不可能を可能にした挑戦者達の涙ぐましい戦いぶりが目に浮かんでまい
ります。そのなかでも、あえて一つあげて下さいといわれたら、私が感動した放送は「奇
跡の心臓手術に挑む - 天才外科医の秘めた決意」です。心臓外科医、須磨久善さんの涙ぐ
ましいばかりの努力の結晶と称賛を送りたい。そのリーダーの言葉「医者というのは、患
者のためにいるわけで、医者としての地位や名誉などどうでもいいことです。大切なのは、
医者が患者から見捨てられないようにすることです」はとてもすてきな言葉で印象深いも
のです。

ここで、今回のテーマからは少しはずれますが、心のやさしい詩人で人気のある金子み
すゞさんの詩を紹介したい。西條八十やそらに称賛され、たった26歳でこの世を去った今、
女性に人気の詩人です。「金子みすゞ全集(全3集)」(JULA出版、1984)の立派な本
もありますが、1998年3月18日に第1刷として「金子みすゞ童謡集」が角川春樹事
務所から発行されました。2001年10月28日には第21刷になっております。二つ
紹介しましょう。

「私と小鳥と鈴と」

私が両手をひろげても、
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面じへたを速はやくは走れない。

私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがつて、みんないい。

「露」

誰だれにもいわずにおきましよう。
朝のお庭のすみっこので、
花がほろりと泣いたこと。

もしも噂うわさがひろがって
蜂はちのお耳へはいつたら、
わるいことでもしたように、
蜜みつをかえしに行くでしょう。

「心にのこる言葉3」(小野寺健著, 河出書房)は, その言葉の本来の意味を易しく詳細に解説されていて教訓本として立派なもので, 3年前の『Library』(平成11年4月7日発行, 第31号)にも紹介しました。

いくつかを引用します。

「日の輝かぬところに光がさす。海のないところに,
心の海が押しよせてくる。」

(Light breaks where no sun shines;
Where no sea runs, the waters of the heart
Push in their tides.)

ディラン・トマス(イギリスの詩人)

「年がいくつかなんて問題じゃない, 大事なのは経験よ。
百まで生きて何の経験もしない人だっているんだから。」

(It doesn't matter how old someone is,
it's what they've experienced that counts.
People can get to be a hundred and not experience a thing.)

カズオ・イシグロ(イギリスに帰化した日本人で現代イギリスの作家)

「人間の魂にひそむ情熱で, 音楽に糧を見いださないものはない。」

(There's sure no passion in the human soul,
but finds its music.)

ジョージ・リロウ(イギリスの劇作家)

「希望を持って旅をつづけるほうが, 目的地に到達してしまうよりもいい。
真の成功は労苦にある。」

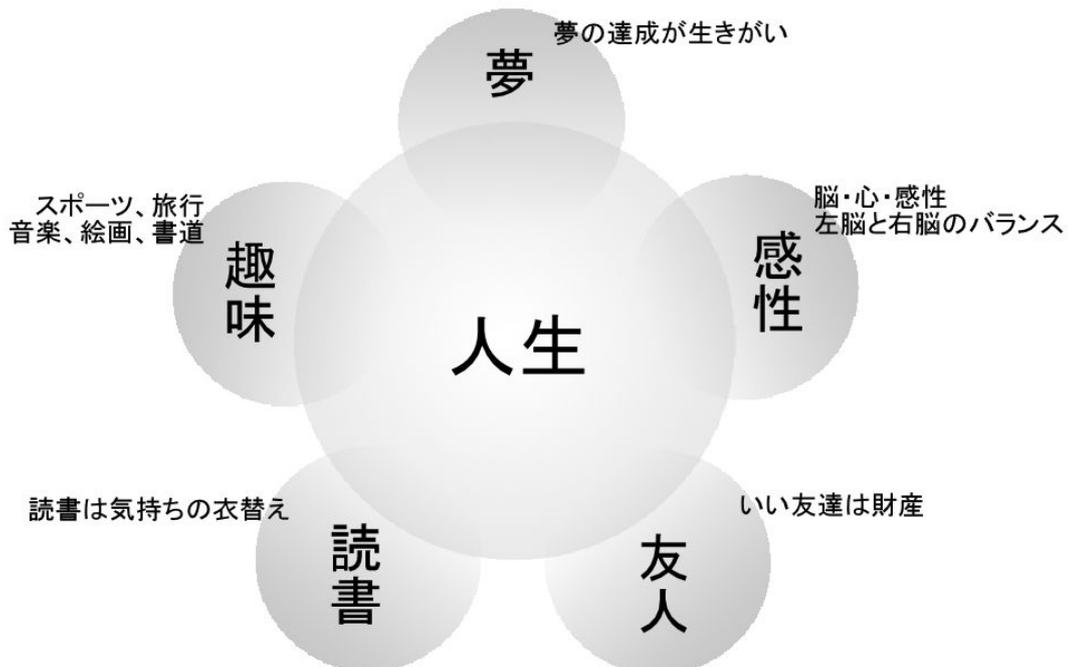
(To travel hopefully is a better thing than to arrive,
and the true success is to labour.)

R. L. スティーヴンソン(イギリスの小説家・詩人)

おわりに、これからの学生に望む5つのキーワードでしめましょう。二年次生には、松本キャンパスでの講義に紹介しております。

● 21世紀の大学生に望む5つのキーワード ●

－ 勉学以外に努力すること －



続く

次回（7）のテーマは教訓のことは特集，その2です。

* 編注：『プロジェクトX』（NHKソフトウェア出版社）のビデオテープを購入しました。
ビデオテープ専用書架に置いてありますので、どうぞご利用ください。

♪♪♪ 分館通信 ♪♪♪

告知板

ここでは図書館からの最新の情報をお知らせしています。

次号 Library 発行までのお知らせは、Library 号外として構内の掲示板や繊維学部分館ホームページ (<http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/seni/>) でご案内していますので、そちらをご覧ください。

⇒ 図書館オリエンテーションについて

〇〇について書いた本を探しているのだけど、図書館のどこにあるの？

××について調べたいのだけど、何で調べたらいいの？

図書館にある端末やカードは何をするためのもの？

図書館を利用する際、図書館の利用方法や図書(文献)の探し方について疑問に思ったことはありませんか？目的の本が見つけれない、図書館にある設備の利用方法がわからず使えなかった、といった経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。

図書館の有効な使い方を知ることは、学習・研究に多いに役立ちます！

そこで、図書館では特に新2年生の方を対象に、主に図書館内の設備の案内・図書館で行っているサービスの説明会を行います。松本の中央図書館とは異なる点もありますので、是非、参加してください。実施時間は以下の通りです。

*** 参加される方は、開始時刻までに **図書館2F会議室** にお集まり下さい ***

実施期間 4/9(火)~4/12(金) の4日間

① 13:10~ ② 14:45~ ③ 16:30~

* 所要時間は40~50分ほどです。



期間中、1日3回行います。ご都合のよい時間に参加して下さい。

また、希望者(グループ)・講座を対象に、ご希望に沿った内容のオリエンテーションも行いますので、繊維学情報係(内線:5015、担当:滝口)にご相談ください。

⇒ 図書委員会(H14.4.1-H16.3.31) および平成 14 年度係員の職務分担

平成14年度の図書委員会は以下の先生方で構成されます。

分館長	三浦 幹彦
学術情報・図書館 委員会委員	太田 和親
応用生物科学科	金勝 廉介
繊維システム工学科	三浦 幹彦(兼任)
素材開発化学科	高口 豊
機能機械学科	森川 裕久
精密素材工学科	松瀬 丈浩
機能高分子学科	太田 和親(兼任)
感性工学科	横井 紘一

平成14年度の係員の職務分担は下記の通りです。

担当者	内線	e-mail アドレス	職務分担
内海係長	5313	utsumih@gipac.shinshu-u.ac.jp	分館事務総括
濱 光子	5016	Mitsuko_Hama@su-oasis.jm. shinshu-u.ac.jp	備付機器等保守
渡辺彰宏	5016	jfc2101@giptc.shinshu-u.ac.jp	雑誌(購入・製本) 別刷
川西玲子	5015	jil2200@gipac.shinshu-u.ac.jp	図書購入／目録(図書・雑誌) 文献複写(受付)
滝口智子	5015	jfc0200@giptc.shinshu-u.ac.jp	文献複写(依頼)／現物貸借 閲覧／情報システム管理

* 図書館の利用案内、各種検索端末の操作方法、資料の所蔵確認などは係員全員が担当しますので、お気軽にお尋ね下さい。

* 4月の人事異動により、繊維学部分館のためにご尽力いただきました杉本係長、武田係員の二名が転任となりました。新たに二名のスタッフを迎え、新メンバーでこれまで以上に一生懸命努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

(1月～3月)

- 2/28 第1回 信州大学附属図書館講演会 (SUNS) 出席者一 学内教職員
講師 土屋 俊 氏 (千葉大学附属図書館長) 長野大学職員
『大学図書館の今後』
講師 森高 桂子 氏
(国立女性教育会館情報交流課長)
『独立行政法人と図書館サービスの新たな展開』
- 3/4 第4回 信州大学学術情報・図書館委員会 出席者一 太田委員
学術専門部会 (SUNS)
- 3/13 第7回 図書委員会
- 3/14 第2回 信州大学附属図書館講演会 (SUNS) 出席者一 学内教職員
講師 藤岡 昭治 氏 (京都精華大学情報館次長) 長野大学職員
『大学にとって総合力とは何か :
情報館のビジネスモデル序説』 上田市立図書館職員

編集後記

今年の桜は例年より早く咲きそう、と予想されていますが、皆さんのお手元にこの Library が届く頃には上田の桜も満開になっているのでしょうか。

今号は4月号恒例となりました近藤先生からご寄稿いただきました。早6回目を数え、毎年楽しみにしているというファンの声も聞こえてきます。今回の教訓の言葉はいかがでしたか。日本の春は始まりの季節でもありますが、これらの先人の言葉を胸に、新たな気持ちで図書館作りに臨みたいと思います。

次号は7月の発行を予定しています。利用者の皆さんの声も Library に掲載したいと思いますので、ご意見・書評など何でもお寄せ下さい。係員に直接、または E-mail での寄稿もお待ちしています。

E-mail アドレスは、jfg0100@giptc.shinshu-u.ac.jp です。